

提案力×技術力 高松建設 Takamatsu 0120-53-8101

朝の詩 何と呼ぶ？ 千葉県松戸市 高山 徹 76

産経新聞

産経新聞(サンケイ) THE SANKEI SHIMBUN 発行所 産経新聞大阪本社 2025 千556-8660 大阪府浪速区湊町2-1-57 電話 (06)6633-1221 (大代表)

紙面・記事へのご意見・ご感想 0570-046-460 (平日10時～17時、土日祝日休み) o-dokusha@sankei.co.jp 販売・配達に関するお問い合わせ 06-6633-9357 (平日9時～19時、土日祝日9時～17時) https://o-sankei-hanbai.com/c/ (平日のみ) 購読のお申し込み 0120-34-3733 (平日9時～19時、土日祝日9時～17時) https://reader.sankei.co.jp/reader/

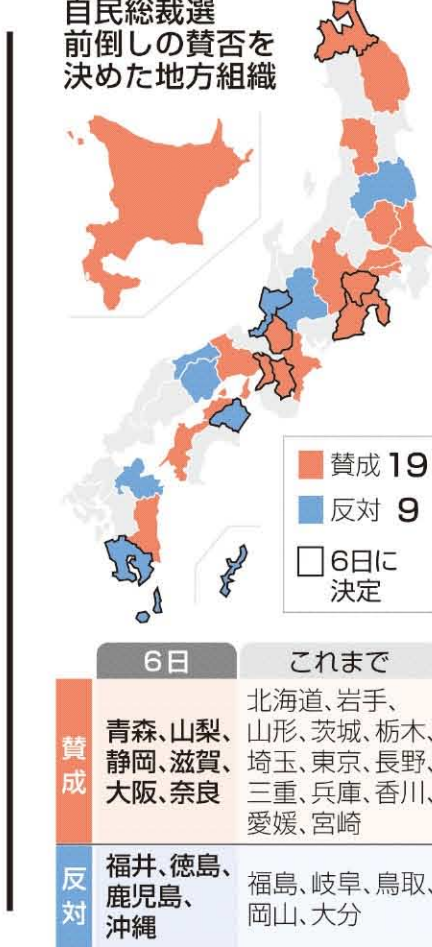
特集 THE SANKEI SHIMBUN DX 大解剖 産経 DX 検索



「加冠の儀」を終え、皇居・宮中三殿の賢所へ向かわれる秋篠宮・夫妻の長男、悠仁さま。6日午前11時2分、皇居・宮殿東庭(酒井真大撮影)

悠仁さま成年式 「自覚持ち、つとめ果たしたい」

秋篠宮・夫妻の長男、悠仁さまの「成年式」が6日、執り行われた。悠仁さまは6日午前、皇居・宮中三殿の賢所で「成年式」の自覚を持ち、つとめを果たすことを誓った。式は男性皇族が成人する慣例で行われる重要儀式で、昭和60年11月30日、礼宮文仁親王だった秋篠宮さまが臨まれて以来、40年ぶり。悠仁さまは昨年、18歳



自民総裁選 前倒し賛成19都道府県に 反対9県、あす是非決定

自民党の総裁選前倒しの是非を巡り、新たに青森、山梨、静岡、滋賀、大阪、奈良の6府県が6日、前倒しを要求する方針を決定し、これまでに賛成は19都道府県に拡大した。一方、福井、徳島、鹿児島、沖縄各県連は前倒しを求めないことを決め、反対も9県連に増えた。未定の府県連は期限の8日まで調整を急ぐ。地方の動向は、態度を明らかにしていない国会議員の判断にも影響するとみられる。

聴覚障害者に「声」届ける 補聴システム実証実験へ

聴覚に障害がある人に駅や空港、病院などの公共空間で、雑音下でも必要な情報を伝える「補聴システム」の導入・普及を目指すプロジェクトを、東京工科大学メディア学部がスタートさせた。システムは、Wi-Fiと専用アプリに加え、近距離無線通信「Bluetooth」(ブルートゥース)の新技术を利用する2つの方式を併用。欧米を中心に普及しつつあるが、国内では導入されておらず、体験会などを重ねながら、今年冬の実証実験を目指している。(堀川晶伸)

補聴システム実証実験へ

吉岡講師によると、駅や空港、ホール、スタジオ、病院などの施設では、スピーカからのアナウンスで情報を伝達している。しかし、周囲の雑音などの影響で、聴覚に障害のある人には聞き取りにくい状況が多く、社会参加などを妨げる一因にもなっているという。

プロジェクトの名称は「Voices for All」で今年7月からスタートした。イスラエルの補聴システム会社「ベティア」が開発した、欧米を中心に広がりつつあるシステムを、日本での導入や普及に向け、聴覚障害者の団体や言語聴覚士、音響機器メーカーとの意見交換や体験会を通じて検証を進めている。

システムは、Wi-Fi

石破茂首相(党総裁)は6日、公邸で側近の赤沢亮正経済再生担当相と会談した。党内情勢を巡って意見交換したもようだった。群衆、福岡県連も結論を待ち越した。意思確認は党則に基づく手続き。臨時総裁選の実施には、所属国会議員295人と都道府県連代表47人を合わせた総数の過半数となる172人の要求が必要だ。共同通信の5日時点の意向調査では、国会議員の賛成は120人超、反対は50人弱だった。未定

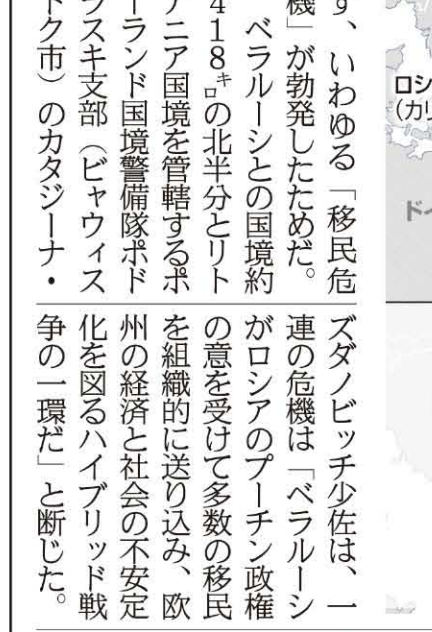
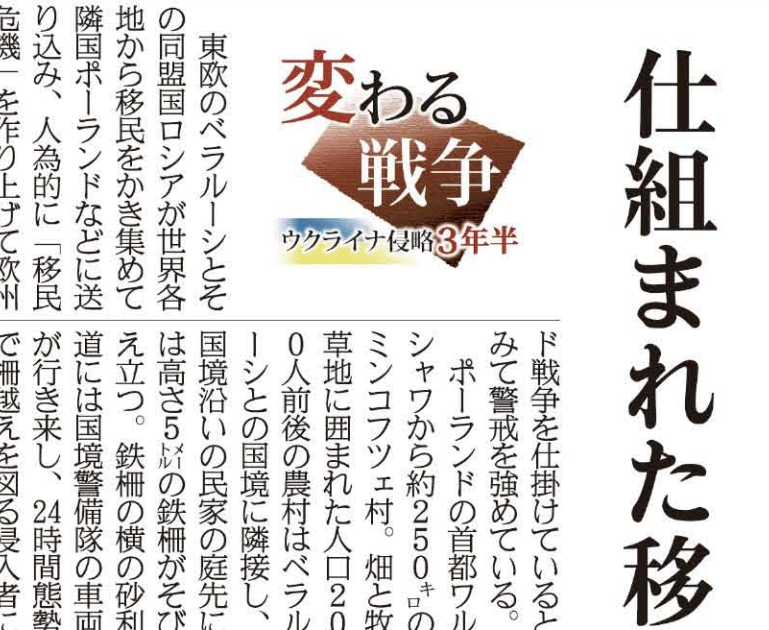
は4割に及ぶ。6日の鹿児島県連の会合で前倒し反対を決定した後、県連会長を務める森山裕幹事長は、記者会見で「県連所属の国会議員が決定に背くことはない」と述べた。千葉県連は総務会を開いたが、決定には至らず県連会長の斎藤健前経済産業相に一任した。斎藤氏は記者団に「自ら辞めたい」と述べた。党内の混乱を防ぐため、本人に判断してもらおうの「一番良い」と語った。群馬、福岡県連も結論を待ち越した。意思確認は党則に基づく手続き。臨時総裁選の実施には、所属国会議員295人と都道府県連代表47人を合わせた総数の過半数となる172人の要求が必要だ。共同通信の5日時点の意向調査では、国会議員の賛成は120人超、反対は50人弱だった。未定

上皇后陛下が、皇太子妃のころにお詠みになった一首がある。昭和55年2月23日の作という。

「音さやに懸緒断られし月の立てははるく遠しかの如き」のうづきを覚える御歌である。きょうは19歳になった秋篠宮家の長男、悠仁親王殿下が成年式に臨まれた。ご一家も、同じような感慨に包まれたのか、もしないか。宮殿「春秋の間」に和ばさみの音が響き、将

仕組まれた移民流入露の影

ド戦争を仕掛けていてとみて警戒を強めている。ポーランドの首都ワルシャワから約250kmのミンコフツェ村。畑と牧草地に囲まれた人口2000人前後の農村はベラルーシとの国境に隣接し、国境沿いの民家の庭先には高さ5mの鉄柵がそびえ立つ。鉄柵の横の砂利道には国境警備隊の車両が行き来し、24時間態勢で柵越えを図る侵入者に目を光らせる。



す、いわゆる「移民危機」が勃発したためだ。ベラルーシとの国境約418kmの北半分とロシアがポーランドを管轄するポランド国境警備隊がロシアの経済と社会の不安定化を図るハイブリッド戦争の一環だ」と断じた。

産経抄

上皇后陛下が、皇太子妃のころにお詠みになった一首がある。昭和55年2月23日の作という。『音さやに懸緒断られし月の立てははるく遠しかの如き』のうづきを覚える御歌である。きょうは19歳になった秋篠宮家の長男、悠仁親王殿下が成年式に臨まれた。ご一家も、同じような感慨に包まれたのか、もしないか。宮殿「春秋の間」に和ばさみの音が響き、将

産経ニュース

THE SANKEI SHIMBUN 産経ニュース https://www.sankei.com

5面に続く

産経ニュース

「糖尿病薬で痩せる」に警鐘

グーグルに5000億円制裁金 豆乳市場 じわり拡大 そろばん 令和に復権